

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 38 週分・9 月 14 日～9 月 20 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの患者報告数が注意報レベルの基準を超えました。

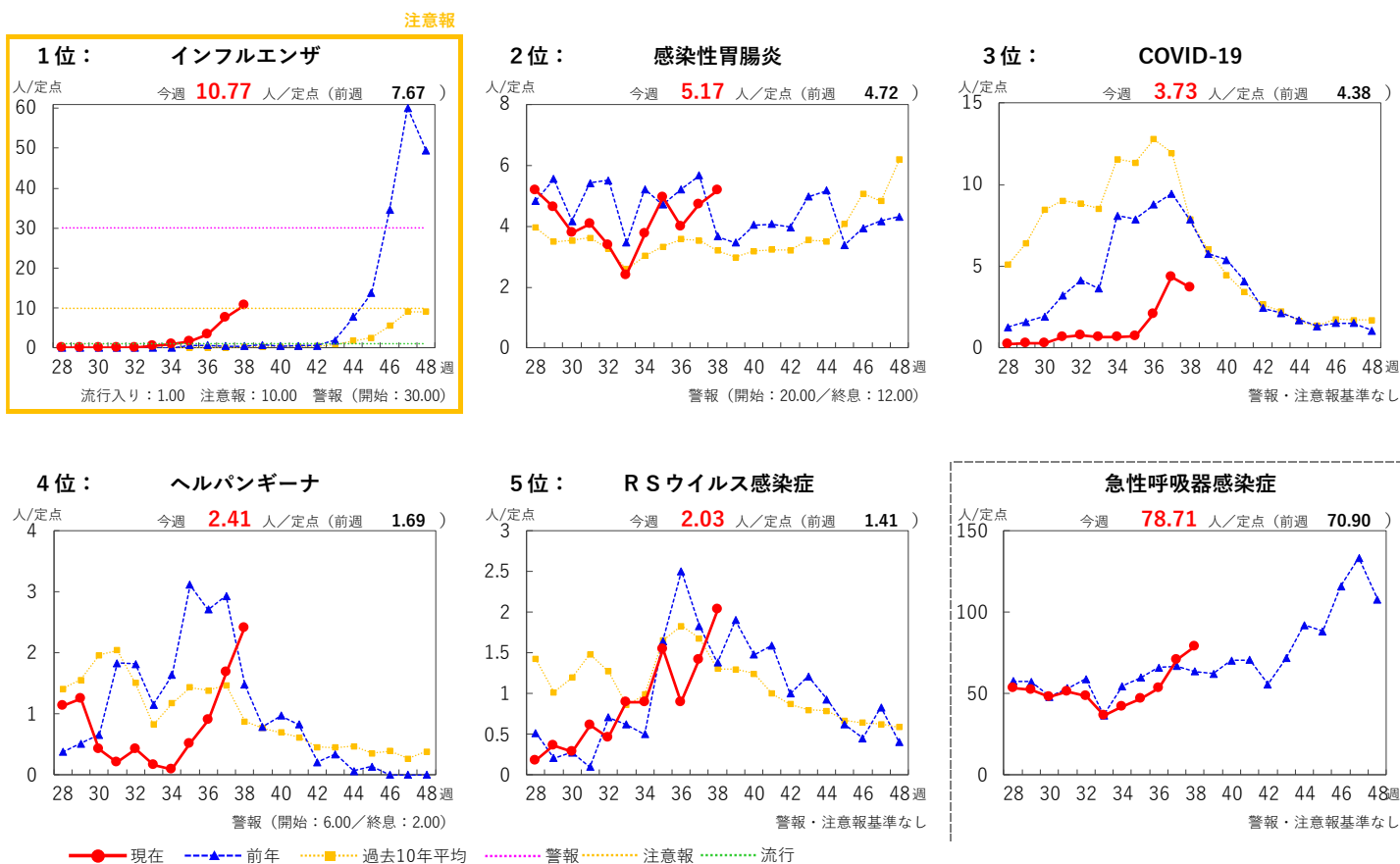
県内の患者報告数は今週 10.77 人/定点となり、注意報レベルの基準である 10.0 人/定点を超えました。(9 月 25 日報道発表参照)。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第 35 週インフォメーション参照)

○腸管出血性大腸菌感染症が今週 6 件 (2026 年累計 28 件) 報告されました。

予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、生肉に触れた手や調理器具は洗浄・消毒することが重要です。(第 33 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 38 週・9/14～9/20)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 5 件 (①30 歳代、女性 ②50 歳代、女性 ③80 歳代、男性 ④⑤ともに 80 歳代、女性)

三類感染症 細菌性赤痢 1 件 (30 歳代、男性、*S. flexneri*, B 群)

腸管出血性大腸菌感染症 6 件 (①男性 ②女性 ①②共に 20 歳代、O157、VT1VT2

③20 歳代、女性 ④30 歳代、男性 ③④共に O26、VT1

⑤⑥共に 50 歳代、女性、O型不明、VT1)

四類感染症 レジオネラ症 3 件 (①50 歳代、男性 ②70 歳代、男性 ③80 歳代、女性 ①～③全て肺炎型)

五類感染症 梅毒 3 件 (①20 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期 ②30 歳代、女性、無症候

③50 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)





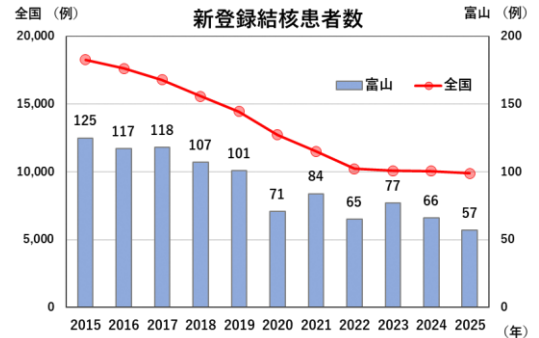
結核はまだまだ身近な病気です 予防しよう 呼吸器感染症

《 インフォメーション 》

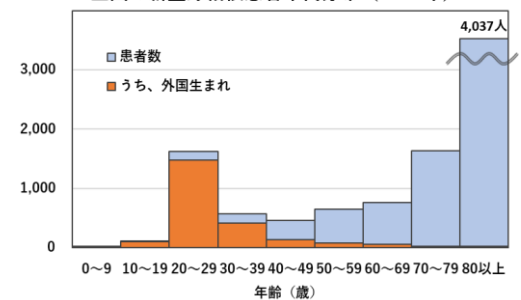
●結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間（9/24～9/30）

厚生労働省は、9/24～9/30 を「結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間」と定め、国民に対し、これらの感染症の予防等に関する普及啓発を行っています。

結核は過去の病気と思われがちですが、現在でも全国で年間 1 万人程度の新登録結核患者が報告され、1,400 人以上が亡くなっています。全国の新登録結核患者数は 2022 年まで減少傾向を示していましたが、以降は横ばいで推移しています（上図：折れ線グラフ）。富山県では、概ね減少傾向となっています（上図：棒グラフ）。新登録結核患者は、高齢者が多く、2025 年はおおよそ 6 割が 60 歳以上となっています（[厚生労働省：令和 8 年度版結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間ポスター](#)）。また、10～30 歳代の若年層では、外国生まれの患者が多くを占めています（下図）。



(例) 全国の新登録結核患者年代分布（2025年）



結核は、結核菌を原因とする感染症で、咳やくしゃみ等で空気中に飛び散った飛沫を吸い込むことにより感染します

出典：2025 年 結核登録者情報調査年報集計結果について（厚生労働省）

（空気感染）。感染しても、多くの場合は免疫によって結核菌の増殖が抑えられ、発病することなく経過します。一方、免疫力が低下している場合には、感染後まもなく発病することもあり、長期間を経て発病することもあります。また、加齢などによって免疫力が低下した際に、過去に感染した結核菌が再び増殖して発病することもあります。結核を発病した場合は、咳や痰、発熱など風邪に似た症状がみられます。このような症状が 2 週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。結核を早期に発見することで、重症化を防ぐだけでなく、身近な人への感染を防ぐことができます。

予防対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」、そして日常的な健康管理です。こまめな手洗いや手指消毒を心がけましょう。また、免疫力の弱い乳幼児が結核菌に感染すると、全身に広がり重症化する可能性があります。重症化を防ぐため、定期接種対象年齢（推奨時期：生後 5～8 ヶ月）の間に BCG ワクチンを接種しましょう。

非結核性抗酸菌（NTM）症は土や水、浴室などの環境に自然に存在する菌が肺などの臓器に入り、ゆっくり炎症を起こす病気です。結核とは異なり、一般的にヒトからヒトへうつることはありませんが、高齢者や基礎疾患のある方では発症しやすいことがあります。長引く咳や痰、息苦しさ、発熱などの症状がある場合には早めに医療機関を受診し、早期発見・早期治療につなげるのが重要です。

富山県の啓発ページ：<https://www.pref.toyama.jp/120511/kekakuyoboushukan2025.html>



分類		疾患	今週報告分（第38週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核				1	4	5	5	3	18	10	42	78		
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	1	7	6	24	43		
	三類感染症	細菌性赤痢			1			1			1		1	2		
		腸管出血性大腸菌感染症			1	1	4	6	3	1	8	3	13	28		
	四類感染症	E型肝炎							1		1		1	3		
		デング熱											1	1		
		マラリア											2	2		
		レジオネラ症		1	2				3	1	3	11	4	17	36	
	五類感染症	急性脳炎								2				4	6	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3		1	6	10	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）												1	1	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										2		5	7	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1		1	
		侵襲性肺炎球菌感染症								3		7	2	5	17	
		水痘（入院例）								1	2	2		4	9	
		多剤耐性緑膿菌感染症													1	1
		梅毒			1	2		3	5	2	10	3	15	35		
		破傷風												1	1	
		百日咳								1				7	8	
		麻しん										4		4	8	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	310 44.29	305 61.00	1,202 92.46	308 44.00	1,653 103.31	3,778 78.71	10,709	9,863	38,138	10,544	47,764	117,018		
		インフルエンザ	49 7.00	13 2.60	132 10.15	46 6.57	277 17.31	517 10.77	1,552	1,253	3,749	1,535	5,240	13,329		
			COVID-19	19 2.71		105 8.08	26 3.71	29 1.81	179 3.73	347	154	684	275	619	2,079	
		小児科定点（29定点）	R Sウイルス感染症	1 0.25		19 2.38	19 4.75	20 2.00	59 2.03	32	12	277	73	194	588	
	咽頭結膜熱		1 0.25		3 0.38		2 0.20	6 0.21	38	23	270	2	86	419		
			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50		4 0.50		11 1.10	17 0.59	161	210	1,454	230	1,390	3,445	
	感染性胃腸炎			21 5.25	20 6.67	9 1.13	2 0.50	98 9.80	150 5.17	863	715	1,169	316	4,326	7,389	
			水痘	1 0.25		3 0.38	1 0.25	1 0.10	6 0.21	4	17	63	12	121	217	
	手足口病			2 0.50	3 1.00	16 2.00		4 0.40	25 0.86	47	187	776	123	1,060	2,193	
			伝染性紅斑							8	3	26	11	13	61	
	突発性発しん				1 0.33	4 0.50		7 0.70	12 0.41	7	27	123	27	135	319	
			ヘルパンギーナ		17 5.67	31 3.88	1 0.25	21 2.10	70 2.41	18	85	146	20	198	467	
	流行性耳下腺炎									3	1	5	4	10	23	
			眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎	1 1.00	2 1.00	2 2.00		5 0.71	12	6	18	16		52	
	基幹定点（5定点）			細菌性髄膜炎											2	2
			無菌性髄膜炎							2					2	
			マイコプラズマ肺炎							10		4	5	7	26	
			クラミジア肺炎										2		2	
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	1		3	
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	1		2	1	2	6	2	1	5	2	6	16		
COVID-19による入院患者			1			2	3	27	19							

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※? インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2026年第36週（8/31～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

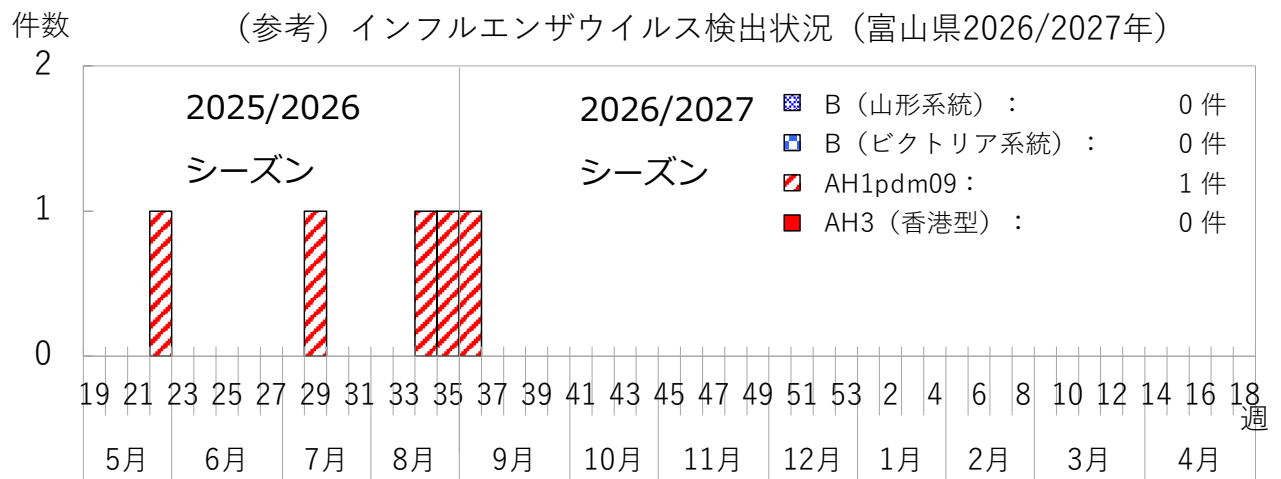
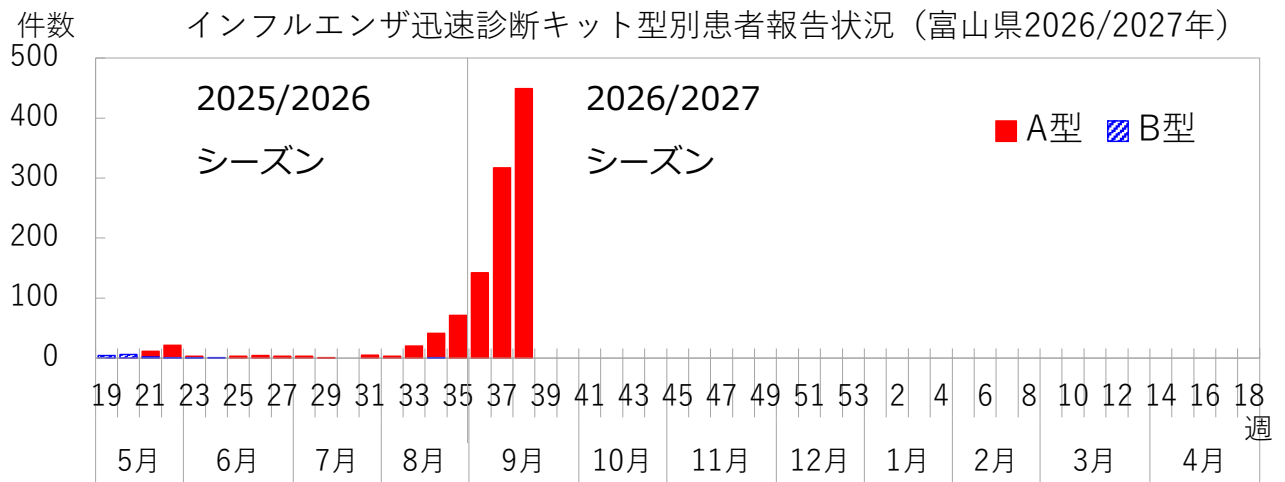
現在、下の表によると、A型が86.8%となっています。

第38週（9/14～9/20）：富山県 10.77人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	43	0	6	49
中部	4 / 5	13	0	0	13
高岡	13 / 13	118	0	14	132
砺波	7 / 7	41	0	5	46
富山市	15 / 16	234	0	43	277
富山県	44 / 48※1	449	0	68	517
富山県累計（2026年36週～）		908	0	137	1,045

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が44か所あったことを示します。

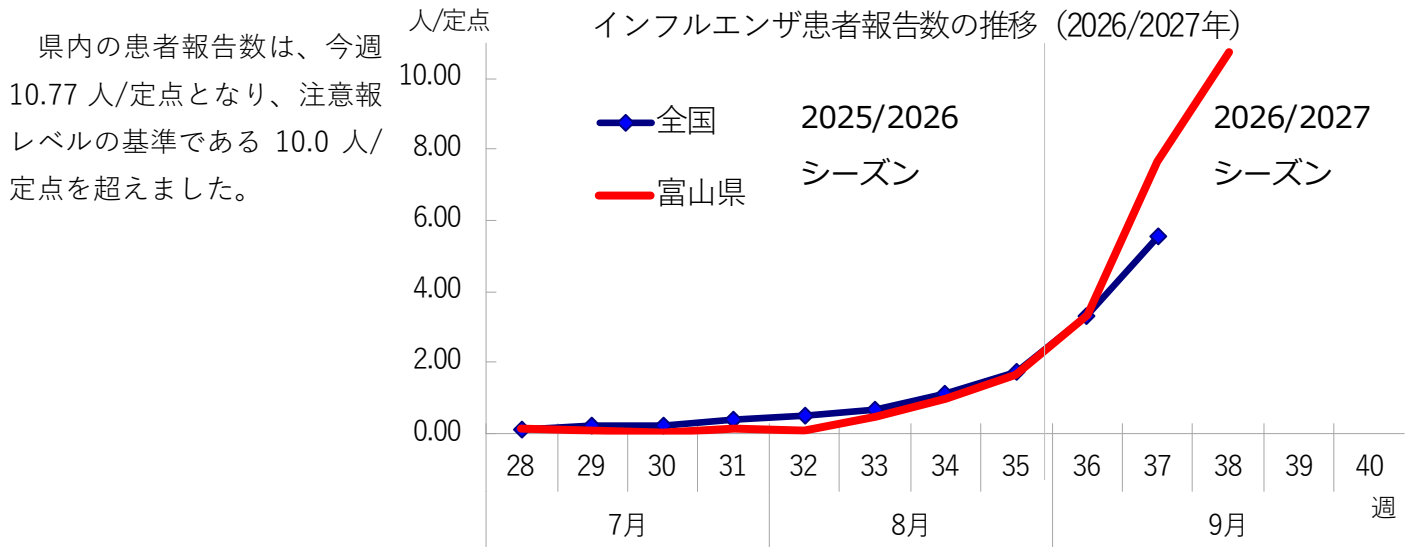
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 38 週（9/14～9/20）

富山県 10.77 人/定点 [新川（7.00）、中部（2.60）、高岡（10.15）、砺波（6.57）、富山市（17.31）]



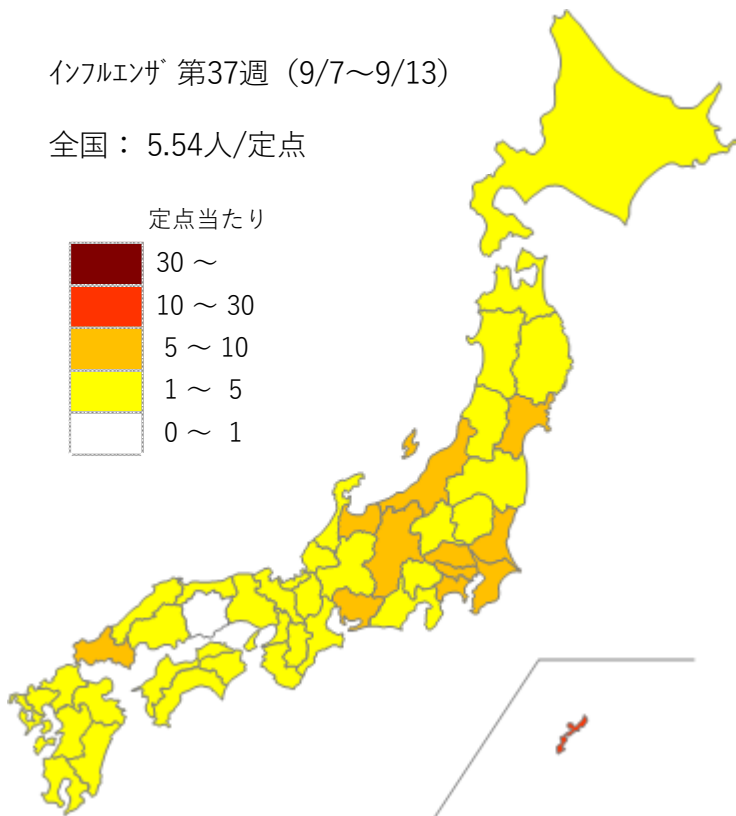
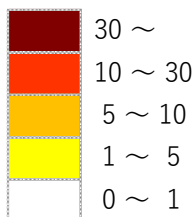
● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 37 週（9/7～9/13）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 5.54 人となり、前週の 3.29 人より増加しました。44 都道府県で前週より増加しています。2 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第37週（9/7～9/13）

全国：5.54人/定点

定点当たり



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.96 ↑	滋賀県	2.66 ↑
青森県	3.23 ↑	京都府	4.36 ↑
岩手県	3.78 ↓	大阪府	2.62 ↑
宮城県	5.35 →	兵庫県	3.20 ↑
秋田県	3.44 ↑	奈良県	2.67 ↑
山形県	4.18 ↑	和歌山県	2.38 ↑
福島県	2.63 ↓	鳥取県	4.41 ↑
茨城県	9.85 ↑	島根県	3.30 ↑
栃木県	4.87 ↑	岡山県	0.72 ↑
群馬県	2.78 ↑	広島県	1.59 ↑
埼玉県	9.10 ↑	山口県	8.03 ↑
千葉県	8.63 ↑	徳島県	3.70 ↑
東京都	9.53 ↑	香川県	1.52 ↑
神奈川県	9.45 ↑	愛媛県	2.47 ↑
新潟県	9.44 ↑	高知県	2.41 ↑
富山県	7.67 ↑	福岡県	4.43 ↑
石川県	3.70 ↑	佐賀県	1.63 ↑
福井県	1.95 ↑	長崎県	3.90 ↑
山梨県	2.66 ↑	熊本県	2.14 ↑
長野県	5.30 ↑	大分県	3.78 ↑
岐阜県	4.09 ↑	宮崎県	1.93 ↑
静岡県	4.70 ↑	鹿児島県	4.81 ↑
愛知県	6.58 ↑	沖縄県	16.61 ↑
三重県	2.88 ↑	全国	5.54 ↑

